

「神尾真由子 ヴァイオリン・リサイタル」出演者変更のお知らせ

11月15日（日）開催の「神尾真由子 ヴァイオリン・リサイタル」に出演予定でございました、ミロスラフ・クルティシエフさん（ピアノ）は、新型コロナウイルス感染症における海外からの渡航制限により来日が困難となったため、誠に残念ではございますが、出演がキャンセルとなりました。

それに伴い、ピアニストが田村響さんに変更となります。

既にチケットをご購入されたお客様、出演を楽しみにされていたお客様には、心よりお詫び申し上げます。なお、この度の出演者変更に伴うチケットの払い戻しは致しません。

ご理解賜りますようお願い申し上げます。

令和2年9月12日

（公財）山形県生涯学習文化財団

山形県郷土館「文翔館」



©武藤章

田村 響（ピアノ）

Hibiki Tamura, piano

2007年ロン・ティボー国際コンクールにおいて弱冠20歳で第1位に輝き、一躍世界に注目される。以来、ビシユコフ指揮ケルン放送交響楽団の定期演奏会デビューおよび日本ツアーを行った他、これまでにN響、読響、都響、新日本フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィルをはじめとする日本各地の主要オーケストラと共演。日本各地でリサイタル活動を活発に行っている。

室内楽も積極的に取り組んでおり、ヴェンゲーロフ、宮田大、三浦文彰の各氏等と共演している。また、2019年3月にはマニュエル・ルグリがプロデュースするバレエ作品にも出演し、自身初となるダンス・ステージとのコラボレーションを果たした。

愛知県安城市生まれ。3歳よりピアノを始める。愛知県立明和高校音楽科を卒業後、18歳でザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学に留学。2015年大阪音楽大学大学院修了。深谷直仁、清水皇樹、クラウディオ・ソアレ、クリストフ・リースケの各氏に師事。

これまでに3枚のCDをリリース。受賞歴としては、2003年アリオ賞、2006年第16回出光音楽賞、2008年文化庁長官表彰・国際芸術部門、2009年第10回ホテルオーケラ音楽賞、2015年第70回文化庁芸術祭音楽部門新人賞などがある。京都市立芸術大学専任講師。